

第 29 回建設業経理事務士検定試験

4 級試験問題

注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

【第1問】 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の＜勘定科目群＞から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。(24点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 銀行から¥250,000を借り入れ、利息¥1,750を差し引かれた手取額が当座預金に振り込まれた。
- (2) 本社の事務用机と椅子を購入し、その代金¥353,000を現金で支払った。
- (3) 外注していた工事が完成し、その代金を支払うため¥102,000の小切手を振り出した。
- (4) 現場事務所用の文房具を購入し、その代金¥9,500を現金で支払った。
- (5) 本社事務所の電話代¥15,000が、当座預金から引き落とされた。
- (6) 受注した工事の完成に伴い、材料費¥95,000、労務費¥90,000を完成工事原価に振り替えた。

＜勘定科目群＞

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 建物
F 備品	G 借入金	H 完成工事原価	J 通信費	K 支払利息
L 材料費	M 労務費	N 外注費	Q 経費	R 損益

【第2問】 次の設問に答えなさい。(20点)

問 1 次の文の の中に入る用語として適当と思われるものを下記の＜用語群＞から選び、その記号（ア～タ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 損益計算書は 1 を明らかにするため、 2 という等式にもとづいて作成される。
- (2) 企業の経営活動を記録・計算するために設けられた帳簿上の場所を 3 という。
- (3) 残高試算表の 4 には、資産・ 5 に属する諸勘定の残高が記入される。

＜用語群＞

ア 一定時点の財政状態	イ 一定期間の経営成績	ウ 収益	エ 費用	オ 仕訳
カ 費用+当期純利益=収益	キ 資産-負債=資本	ク 取引	コ 現金	サ 借方
シ 複式簿記	ス 勘定記録	セ 勘定口座	ソ 主要簿	タ 貸方

問 2 次の各取引の要素として適当なものを下記の＜取引の要素群＞から選び、借方・貸方ごとにその記号（A～H）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 現金を元入れして、建設業を開業した。
- (2) 現場事務所の家賃を現金で支払った。
- (3) 銀行より営業資金の借入れを行い、当座預金に預け入れた。
- (4) 当座預金から現金を引き出した。
- (5) 受注した工事が完成し、引渡しと同時に、その工事代金を小切手で受け取った。

＜取引の要素群＞

A 資産の増加	B 資産の減少	C 負債の増加	D 負債の減少
E 資本（純資産）の増加	F 資本（純資産）の減少	G 収益の発生	H 費用の発生

〔第3問〕 次の<資料1>及び<資料2>に基づき、解答用紙の合計残高試算表(平成×年1月31日)を完成しなさい。(30点)

<資料 1>

合計試算表

平成×年1月20日 (単位：円)

借方	勘定科目	貸方
258,000	現金	170,000
930,500	当座預金	609,000
110,000	備品	
160,000	土地	
200,000	借入金	450,000
	資本	300,000
	完成工事高	455,500
70,000	材料費	
40,000	労務費	
60,000	外注費	
55,000	経費	
48,000	給料	
7,000	通信費	
9,000	旅費交通費	
35,000	支払家賃	
1,000	支払利息	
1,000	雑費	
<u>1,984,500</u>		<u>1,984,500</u>

<資料 2> 平成×年1月21日から31日までの取引

- 21日 手許現金として当座預金から¥170,000を引き出した。
- 〃 本社事務員の交通費¥7,000を現金で支払った。
- 23日 本月分の本社事務所家賃¥16,000を現金で支払った。
- 24日 現場作業員の賃金¥50,000を現金で支払った。
- 〃 本月分の本社事務所電話代¥5,000が当座預金から引き落とされた。
- 25日 本社事務員の給料¥13,000を現金で支払った。
- 30日 工事現場の電話代¥4,000を支払うため小切手を振り出した。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。(26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。